



 ナイカイ塩業株式会社

<http://www.naikai.co.jp>

海のもつ可能性を求め続けて

**ナイカイ塩業株式会社**



当社は、環境と品質保証の国際規格ISO14001・ISO9001の認証を取得しています。



代表取締役社長  
野崎 泰彦

当社は、文政12年(1829年)に創業し、爾来およそ180余年間一貫して瀬戸内海に臨む備前児島の地において塩づくりに邁進して参りました。また明治38年から92年間は、塩専売制度の下で、種々の技術革新を成し遂げ、国民生活に欠かすことのできない塩の安定的供給に万全を尽くして参りました。

当社は、塩田製塩から膜濃縮製塩法に至る今日まで、継続して製塩業にたずさわる日本で唯一の企業であることを誇りに、創造的な経営を目指しています。

今、新しい時代を迎えましたが、これからも変わることなく「品質のナйкаイ」「技術のナйкаイ」の伝統を大切に、お客様と地域に貢献する企業として、不断の努力を続けて参る所存でございます。



ナйкаイ塩業創業の地 倉敷市児島全景

# 瀬戸内の恵みから生まれる 無限の可能性と豊かな未来へ。

穏やかな海と多くの島々が点在する美しい瀬戸内海。

国立公園でもあるこの瀬戸内の海は、私たちに多くの恵みをもたらしてくれます。

岡山県の瀬戸内沿岸では、温暖な気候と、「晴れの国」と呼ばれるほど雨が少なく、

日照時間が長いという自然条件に加え、

干満の差の大きさと安定した海水濃度などの特徴を活かして、古くから塩づくりが行われてきました。

人間の生命維持に欠かせない“塩”。

それは、食品として必要とされるだけでなく、人々の生活と文化、産業と深く結びついています。

江戸時代から、瀬戸内の塩づくりとともに歩んできたナイカイ塩業は、

海からの恵み…“塩”に秘められた可能性をさらに追求し、より豊かな未来の創造に貢献してまいります。

## 創業期

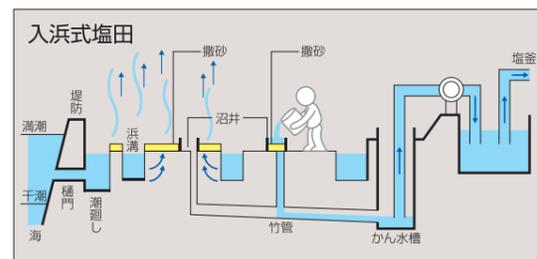
### 自然の利を活かして誕生した 入浜式塩田。

岩塩資源のない我が国では、塩は大昔から海水を原料として作られてきました。

当社の創業者野崎武左衛門は、文政12年(1829年)晴天日数が多く、干満の差の大きい瀬戸内海の自然の利を活かして、児島の地に入浜式塩田を構築しました。

入浜式塩田は、干満の差を利用して引き入れた海水を毛細管現象で砂の表面にしみ出させ、濃い塩水を採る方法で、江戸時代初期から昭和20年代まで続けられました。

その後、野崎武左衛門は児島半島南岸に広大な塩田開発を進め、全国の製塩業者の中心的な役割を果たしてきました。



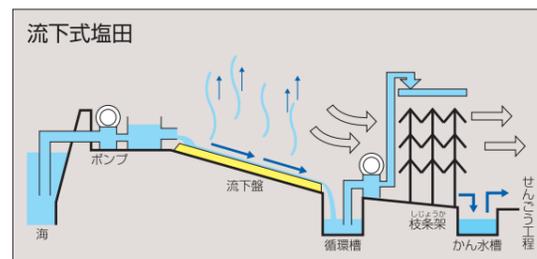
## 転換期

### 自然に頼っていた製塩法から、 近代化の扉を開いた流下式塩田。

昭和20年代後半、我が国の塩田は全面的に「流下式塩田」に転換しました。流下式は、ポンプで汲み上げた海水をゆるやかな傾斜をつけた流下盤へ流し、太陽熱で水分を蒸発させます。その濃縮された海水を竹の小枝を組合せて作られた「枝条架」の上へ送り、滴下させ、太陽熱と風力でさらに水分を蒸発させることを繰り返して、濃い塩水を作りました。

当社では昭和6年頃、すでに枝条架による濃縮方法を考案し、昭和19年には当社番田塩田に流下式の試験塩田を設置し、枝条架に斜層貫流塩田を結合する方法を開発しました。その後の国内における流下式塩田法の全面的導入の基礎を作りました。

これにより入浜式に比べると生産量は3倍に労働力は10分の1に軽減され、大幅な生産性の向上が図られました。

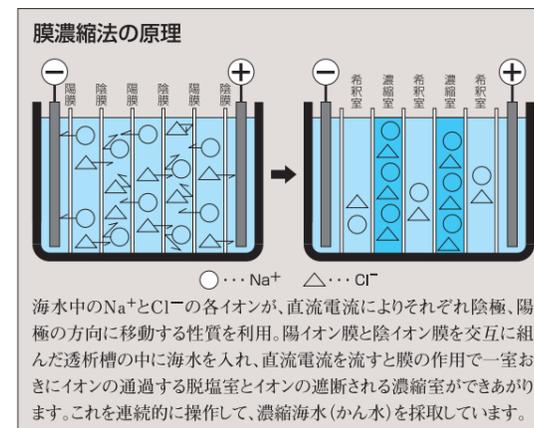


## 改革期

### 製塩法に画期的な革新をはかった 膜濃縮製塩法。

科学の進歩により「膜濃縮製塩法」が開発され、白い革命とまでいわれる技術革新が訪れました。この我が国で開発された画期的な方法によって、天候に左右されず広い塩田を使うこともなく、少ない人手で天然の海水から塩を作ることができるようになりました。

当社では、いち早くイオン膜電気透析装置の試験に着手し、昭和44年に3基、翌年に4基の先行許可を当時の日本専売公社から得て、工業化の先鞭を切りました。

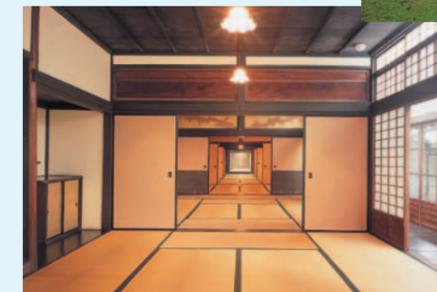


## HISTORY

- 1829 (文政12) 野崎武左衛門、倉敷市児島に入浜式塩田築造。
- 1841 (天保12) 野崎武左衛門、玉野市に東野崎浜塩田築造。
- 1905 (明治38) 塩専売法施行。
- 1934 (昭和9) 株式会社野崎事務所設立。
- 1938 真空式製塩工場新設(15,000トン)。
- 1941 苦汁処理工場を買収し、化成品事業を開始。
- 1944 流下式塩田の発明。
- 1946 (昭和21) 内海塩業株式会社に社名変更。
- 1951 流下式塩田に改良着手。
- 1958 真空式製塩工場を更新(50,000トン)。
- 1962 水酸化マグネシウム製造開始。
- 1969 イオン膜法海水濃縮設備稼働。
- 1972 (昭和47) 新鋭大型製塩工場完成(172,000トン)。  
真空式製塩工場新設、イオン膜法海水濃縮設備増設。  
塩積出用2,000トン埠頭完成。
- 1973 特例塩の製造販売開始。
- 1974 ナイカイ塩業株式会社に社名変更。
- 1981 イオン膜法海水濃縮設備更新。
- 1985 ボイラー設備更新(石炭専焼)。
- 1993 (平成5) せんごう設備全面更新(最大生産能力210,000トン)。
- 1997 (平成9) 塩専売法廃止、塩事業法施行。
- 1998 真空蒸発缶四重効用システムに変更。  
タービン・発電機設備更新(8,900kW)。  
ブローム工場更新。
- 1999 国際品質規格ISO9002 認証取得。
- 2001 タービン・発電機設備出力変更(9,340kW)。
- 2002 酸化マグネシウム工場完成。
- 2003 品質マネジメントシステムISO9001 登録。
- 2006 環境マネジメントシステムISO14001 登録。
- 2009 酸化マグネシウム第二工場完成。
- 2010 炭酸マグネシウム工場完成。

野崎家塩業歴史館  
国重要文化財旧野崎家住宅  
岡山県指定史跡野崎家旧宅  
<http://www.nozakike.or.jp>  
公益財団法人 竜王会館

◆連絡先 / TEL.(086)472-2001  
FAX.(086)472-2636  
◆休館日 / 月曜(祝日の場合は翌日)

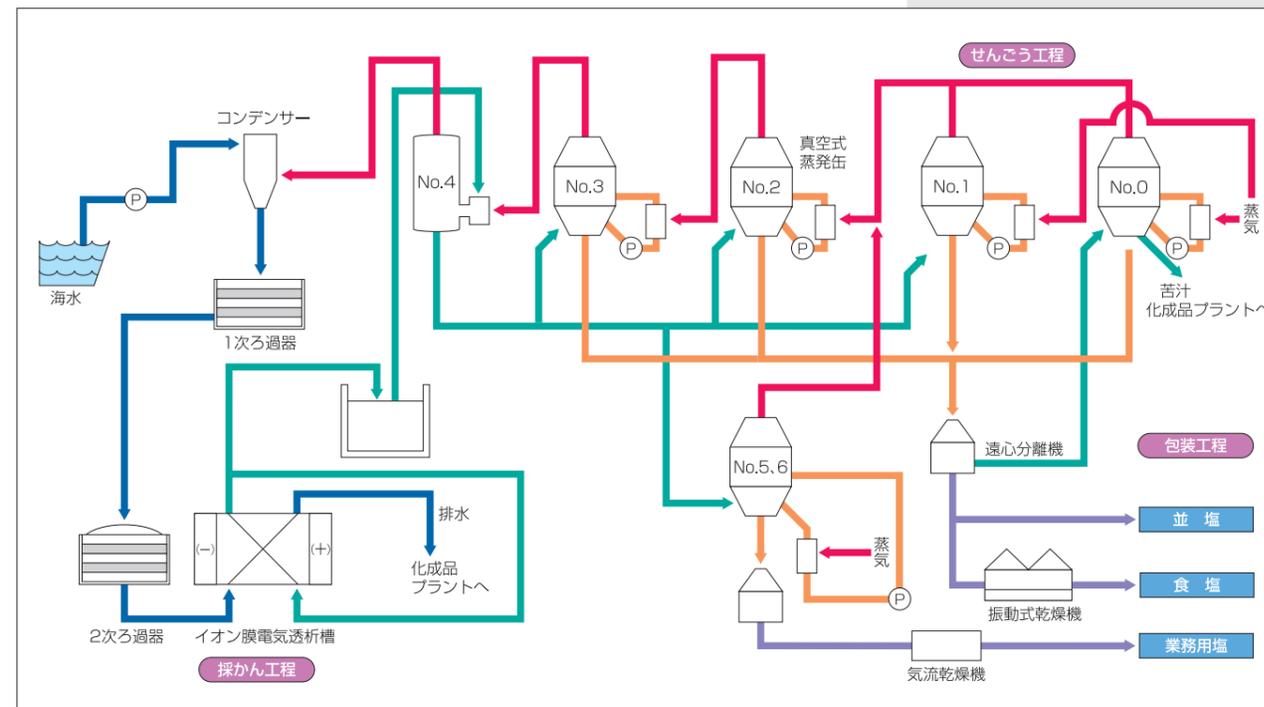


当社を創業した野崎家の屋敷で、一代にして塩田王となった野崎武左衛門が天保4年(1833年)頃から建築したものです。表書院、長屋門、御成門、枯山水など、当時の貴重な建造美を今に伝える文化財として、昭和52年に岡山県の史跡に指定されました。敷地面積約1万平方メートルの邸内には草庵

茶室を含む五席の茶室があり、移り変わる四季の風情と格調あるたたずまいが訪れる人たちに感銘を与え続けています。また、平成7年3月には、「野崎家塩業歴史館(登録博物館)」として登録され展示室では製塩資料を公開しています。

瀬戸内海の豊かな自然を活かして  
地域に、また人々の暮らしに貢献します。

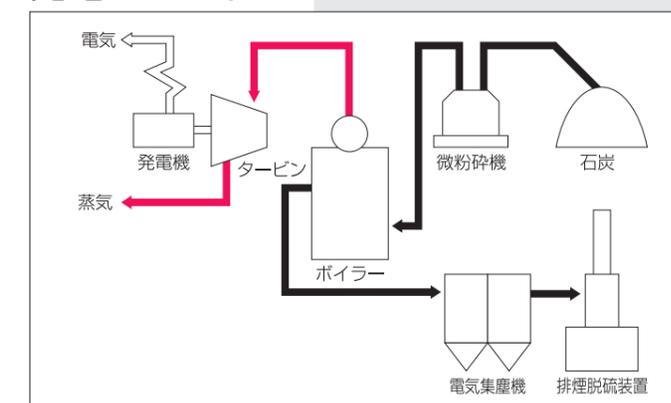
## 製塩プラント



### 主要設備

- ボイラー 66T/H・7.16MPa・485℃ (一式)  
タービン・発電機 9340kW/ 背圧タービン (一式)  
排煙脱硫装置 水マグ吸収法 (一式)
- 海水濃縮設備 イオン膜法締付縦型 (17基)
- 結晶設備 真空式四重効用蒸発缶 (一式)  
(伝熱面積 1,000㎡×4基+400㎡×3基)
- 遠心分離機 10T/H×9基
- 乾燥設備 振動乾燥機 20T/H×1基  
気流乾燥機×3基
- 包装設備 (並塩・食塩・業務用塩)

## 発電プラント



## 塩製品



### 主な製品

- 並塩
- 食塩
- ナクル

# 海水から塩という 小さな結晶へ。 人と技術の和が、 新たなページを 開きました。

最新鋭の蒸発缶の新設をはじめとして、常に積極的に先進の設備を取り入れ、品質とコストパフォーマンスを高めるために技術開発にたゆまぬ努力を重ねています。

また、人材育成に努め、社員の熱意をそのままに、良質の製品づくりにフィードバックしています。

人間の情熱と先進の技術の融合にこそ、企業の躍進がある。

わたしたちは、塩という小さな結晶の中に人とテクノロジーの集大成をしっかりと見出しています。



# 合理的な製造システムが、 海水の成分を抽出、製品化しています。

海水に含まれるさまざまな成分は、塩だけでなく多品種の化成品も生み出します。

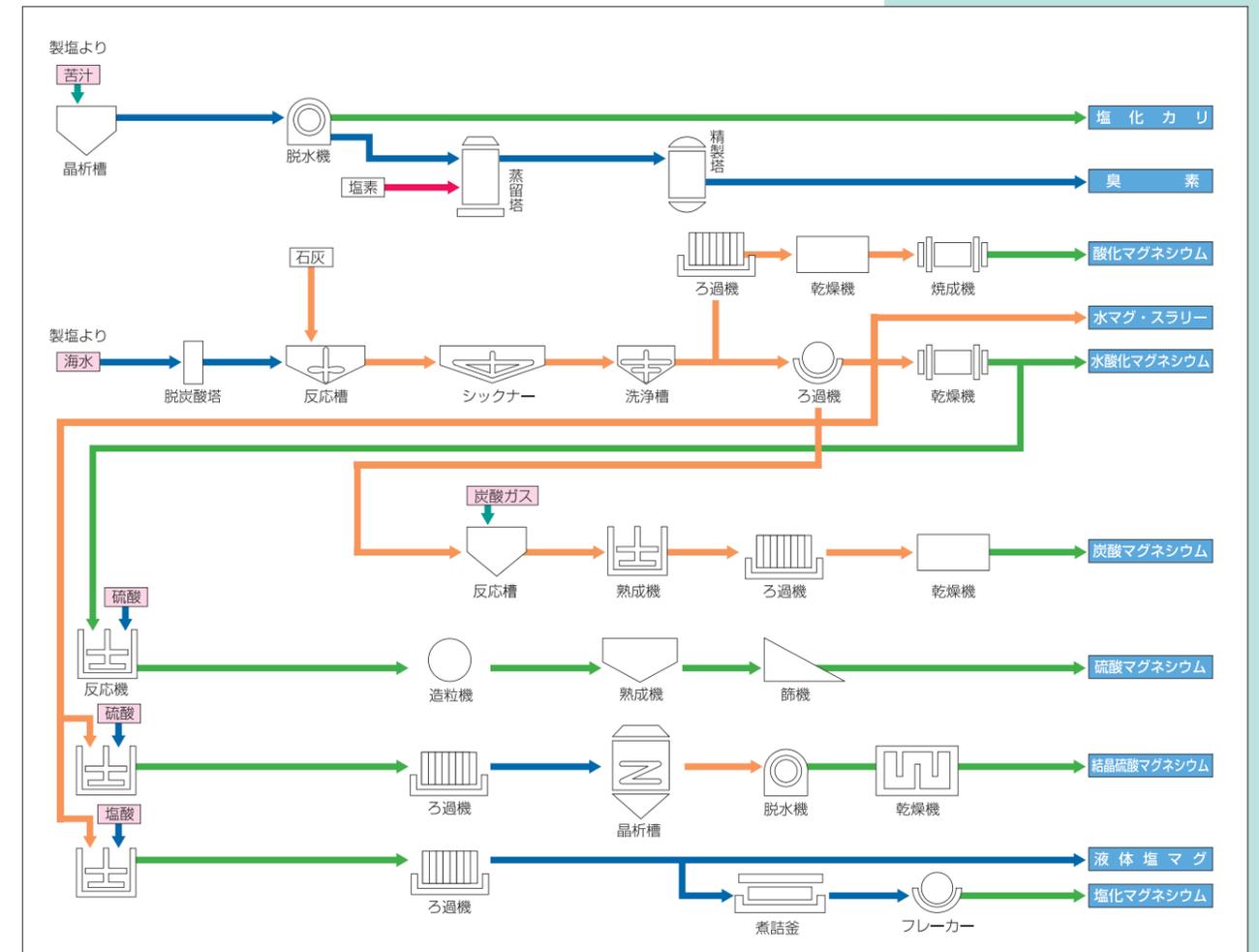
そして、それらを効率よく製品化するために、

ナイカイ塩業では最新設備で構成された合理的な製造システムを開発し、

高品質な製品を安定して提供しています。



## 化成品プラント



### 主な製品

**臭素**  
染料・農薬・難燃剤・写真用

**塩化マグネシウム**  
食品添加物・道路防塵防凍剤・耐火原料・医薬品原料・醸酵助剤

**水酸化マグネシウム**  
工業薬品(排水中和・排煙脱硫・難燃剤)・肥料(化成肥料原料・単肥)

**酸化マグネシウム**  
医薬品原料・工業用接着剤原料

**炭酸マグネシウム**  
食品添加物・飼料添加物・医薬品原料・ゴム補強剤・顔料

**硫酸マグネシウム**  
肥料用 (22・25・加工苦土)

**結晶硫酸マグネシウム**  
食品添加物・飼料添加物・塩析・石鹼洗剤原料・耐火原料・防染剤・グラウト剤・葉面散布用肥料

**塩化カリ**  
工業薬品・カリ肥料・グラウト剤



# 前向きな努力と高度な技術が、安定した品質を実現しています。

合理的にシステム化され、コンピュータ制御によって自動化された設備群が、ナイカイ塩業の信頼の礎を形成しています。

そのラインを見守る眼も決して妥協を許すことなく、日本のナイカイを目指して、常にハードとソフトの向上を図り続けています。



- |                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1 電気透析室         | 11 硫酸マグネシウム包装工場 | 21 液体塩化マグネシウム工場 |
| 2 真空蒸発缶         | 12 塩積出し港        | 22 硫酸マグネシウム工場   |
| 3 並塩分離機         | 13 砂ろ過器         | 23 結晶硫酸マグネシウム工場 |
| 4 食塩包装機         | 14 海水・かん水槽      | 24 研究所          |
| 5 ボイラー          | 15 中央制御室・タービン室  | 25 事務所          |
| 6 電気集塵機・排煙脱硫装置  | 16 分離機乾燥室       | 26 東野崎会館        |
| 7 水酸化マグネシウムシクナー | 17 並塩包装工場       | 27 日本家庭用塩株式会社   |
| 8 水酸化マグネシウムろ過機  | 18 包装工場         | 28 酸化マグネシウム工場   |
| 9 水酸化マグネシウム乾燥機  | 19 受電設備         | 29 バッグ・パレット洗浄工場 |
| 10 臭素工場（蒸留塔）    | 20 塩化マグネシウム工場   | 30 炭酸マグネシウム工場   |



1 電気透析室



2 真空蒸発缶



3 並塩分離機



30 炭酸マグネシウム工場



4 食塩包装機



28 酸化マグネシウム工場



6 電気集塵機・排煙脱硫装置



5 ボイラー



9 水酸化マグネシウム乾燥機



11 硫酸マグネシウム包装工場



12 塩積出し港

地域の皆様にも親しまれる東野崎会館。

文化活動ができる研修室とスポーツ設備を備えた福利厚生施設「東野崎会館」は、地域のふれあいづくりや健康増進に役立てられています。



26 東野崎会館

# 豊かで快適な社会の創造に貢献する ナйкаグループ。

ナйка塩業株式会社



## 会社概要

会社商号 ナйка塩業株式会社  
 会社設立 昭和9年4月20日  
 代表者 代表取締役社長 野崎泰彦  
 資本金 1億8千万円  
 従業員数 130名  
 本社所在地 〒711-0913  
 岡山県倉敷市児島味野1-11-19  
 TEL.086-472-2002  
 FAX.086-474-4328  
 工場所在地 〒706-0305  
 岡山県玉野市胸上2721  
 TEL.0863-41-1501  
 FAX.0863-41-1506  
 東京営業所 〒106-0032  
 東京都港区六本木7-15-14  
 TEL.03-5785-1250  
 FAX.03-5785-1255  
 名古屋営業所 〒450-0002  
 名古屋市中村区名駅4-24-8  
 TEL.052-582-8811  
 FAX.052-583-4874  
 大阪営業所 〒541-0059  
 大阪市中央区博労町3-6-1  
 TEL.06-6245-4191  
 FAX.06-6251-0246  
 福岡営業所 〒812-0013  
 福岡市博多区博多駅東2-17-5  
 TEL.092-473-6251  
 FAX.092-473-6252



本社工場立地地図



## 不動産事業



ショッピングコート パティオ



マリーナ UW-1



マンション ラーメル

暮らしやすい環境づくりをめざして  
 ナйкаグループでは、長年、塩の生産に寄与した塩田跡地の開発事業にも取り組み、地域の活性化に貢献しています。昭和63年に開通した瀬戸大橋のたもとにある倉敷市児島駅周辺では、ショッピングコートパティオをはじめ賃貸マンションや分譲住宅を開発。四国や岡山・倉敷の市街地に近いという交通の便を活かし、さらに快適で住みよい環境づくりをめざしています。

## 関連会社



ナйка株式会社  
 〒711-0913  
 岡山県倉敷市児島味野1-11-19  
 TEL. (086) 472-2215(代)



ナйка商事株式会社  
 〒106-0032  
 東京都港区六本木7-15-14  
 塩業ビル5階  
 TEL. (03) 5785-1250(代)  
<http://www.naikai.jp>



株式会社ナйкаアーキツト  
 〒711-0921  
 岡山県倉敷市児島駅前1-100  
 TEL. (086) 472-5957(代)  
<http://www.n-archit.jp>



ナйка運輸倉庫株式会社  
 〒706-0305  
 岡山県玉野市胸上2721  
 TEL. (0863) 41-2121(代)



ナйкаサービス株式会社  
 〒711-0921  
 岡山県倉敷市児島駅前1-100  
 TEL. (086) 472-2003(代)



ナйка企業株式会社  
 〒706-0313  
 岡山県玉野市西田井地2373-4  
 TEL. (0863) 41-2210(代)  
<http://www.naikai-kigyoo.co.jp>



ナйка建材株式会社  
 〒702-8026  
 岡山県岡山市浦安本町63-5  
 TEL. (086) 264-9585(代)



ナйка青山株式会社  
 〒711-0913  
 岡山県倉敷市児島味野1-11-19  
 TEL. (086) 472-2215(代)



日本家庭用塩株式会社  
 〒706-0305  
 岡山県玉野市胸上2471-1  
 TEL. (0863) 41-1555(代)